

岡山実験動物研究会の35年間の活動

Thirty-five years activities of Okayama Association for Laboratory Animal Science

佐藤 勝紀
Katsunori Sato

岡山実験動物研究会名誉会員
Honorary member in Okayama Association for Laboratory Animal Science

Summary

The Okayama Association for Laboratory Science, established on December 7, 1982, celebrates its 35th anniversary on December 7, 2017. The association was established to provide opportunities for researchers interested in laboratory animals and animal experiments to assemble beyond the borders of universities, faculties, and institutions to exchange their knowledge and information, as well as help promote their research activities and advancement of community science. The executives, auditors, and other members of the association have organized and held workshops and issued newsletters under the leadership of former presidents. The association has been able to implement research activities for a long period of time thanks to the advice of regular members and the support of supporting members. The workshops have been held twice a year since 1990. A total of 74 workshops (regular conferences), as well as symposiums, have been held and 33 research bulletins (proceedings) have been issued over the last 35 years. We have summarized the workshops and symposiums etc. that have been held.

岡山実験動物研究会は平成29年12月7日に創立35年を迎えました。本研究会は猪 貴義先生(岡山大学名誉教授・本研究会名誉会員)、永井 廣先生(岡山大学名誉教授)、倉林 譲先生(岡山大学医学部客員研究員・前森ノ宮医療大学教授・本研究会名誉会員)が呼びかけ人となり、昭和57年12月7日に岡山郵便貯金会館(現メルパルク OKAYAMA)で発足しました。

本研究会は大学や学部、研究機関の枠を越えて、実験動物と動物実験に関心ある方々の集まりの場として、また知識と情報の交換の場として、それぞれの研究の発展と地域における科学の進展に寄与することを目的として設立されました。

これまでの歴代会長のリーダーシップの下で、理事・常務理事・監事の方々が中心となって企画され、研究会の開催・運営、会報の発行などがなされてきています。長い期間にわたって研究会が開催、運営できたのは会員皆様のご指導とご鞭撻さらには賛助会員の絶大な援助並びに平成5年から13年までの9年間にわたる岡山県新技術振興財団(現岡山県産業振興財団)の共催・後援及び平成14年から24年迄の日本生物工学会西日本支部の協賛に依拠しています。

本研究会は昭和58～62年までは(但し昭和

59年は2回)年に3回開催し、平成2年以降、夏(6～7月)と冬(11～12月)に定期的に年2回開催していますが、この35年間に74回の研究会の開催と第33号研究会報の発行を行ってきました。定期的な研究会とは別に、臨時特別講演会(昭和60年11月5日)、特別講演会(平成9年3月6日)も開催しました。また、日本学術振興会『頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム』公開シンポジウム

「The Frontier of the Reproductive Biology～生殖生命科学研究の最前線～(主催:「若手研究者の研究能力向上を実現する生殖生命科学に関する国際共同研究」プログラム実施委員会)(平成26年11月28日)を共催した。さらに、第4回実験動物科学シンポジウム(平成27年12月11日)を(公社)日本実験動物学会と主催した。

以下、これまでに開催した研究会やシンポジウムなどの企画内容の概略について記載した。

第1回研究会 昭和57年12月7日(火)15:00～(設立総会) 郵便貯金会館(現メルパルク OKAYAMA)2階会議室 26名の参加者 特別講演「実験動物における発生のひずみの技法別研究法」永井 廣教授(岡山大歯学部)、「岡山実験動物研究会の今後のあり方」についての討論、懇親会。

第2回研究会 昭和58年4月30日(土)14:00
～ 岡山大学農学部本館3階第5講義室 世話役 猪 貴義先生 研究会会則についての審議、承認。特別講演「哺乳動物による変異原性試験」土川 清先生(国立遺伝研究所、静岡実験動物研究会会長)、「実験動物研究における最近の話題」猪 貴義先生(岡山大・農学部)。

第3回研究会 昭和58年9月30日(金)14:00
～ 重井医学研究所集会室 世話役 沖垣 達先生映画上映「染色体に書かれたネズミの歴史」吉田俊秀先生(国立遺伝学研究所・細胞遺伝学研究所・細胞遺伝部長)編集。特別講演「哺乳類発生学の基礎と応用」館鄰先生(東大・理学部)。

第4回研究会 昭和58年12月3日(土)14:00
～ 林原生物化学研究所・藤崎研究所 世話役 栗本雅司所長 特別講演「林原生物化学研究所の概要」栗本雅司先生(林原生物化学研究所・藤崎研究所長)。

「実験動物の開発—特にその遺伝学的手法について」永井次郎先生(カナダ農商務省研究所・部長)、(林原生物化学研究所見学)。

第5回研究会 昭和59年5月19日(土)13:30
～ 岡山大学歯学部第1講義室 世話役 永井 廣先生 特別講演「先天異常に関する動物データの解釈—とくにヒトへの外挿」西村秀雄先生(京都大学名誉教授)、「Genetic engineering in Destiny」Harold M. Slavkin 教授(南カリフォルニア大学)。

第6回研究会 昭和59年12月8日(土)13:30
～ 岡山大学医学部図書館講堂 世話役 倉林 讓先生 特別講演「動物実験と私」小川勝士教授(岡山大・医学部・病理学教室)、シンポジウム「実験動物の飼育・手技・管理・購入における問題点」(6題):「新薬開発における動物実験の問題点」亀井千晃先生(岡山大・薬学部)、「中央動物実験施設運営における人間の意識調査の問題について」北 徳先生(川崎医大・実験動物飼育センター)、「岡大医学部附属動物実験施設における管理運営上の問題点とその対策について」倉林 讓先生(岡山大・医学部・動物実験施設)、「ハムスター新生児の胸腺摘出と問題点」元田龍一先生(林原生物化学研究所)、「重井医学研究所動物実験室の現状と問題点」内藤一郎先生(重井医学研究所)、「岡山大学農学部における実験動物の飼育管理の問題点」佐藤勝紀(岡山大・農学部)。

第7回研究会 昭和60年4月27日(土)13:30
～ 岡山大学薬学部第2講義室 世話役 田坂賢二先生 一般講演(7題)「実験動物の薬効評価への応用」赤木正明先生(岡山大・薬学部)、「マウスにおける体重選抜とその効果」河本泰

生先生(岡山大・農学部)、「実験用ウサギに寄生するウサギツメダニについて」小郷哲・北徳・山下貢司各先生(川崎医大・実験動物飼育センター)、「我々の飼育したハムスターにおける自然発生腫瘍について」矢部芳郎先生(岡山大・医学部)、「経験に基づく実験動物の行動変容」三谷恵一先生(岡山大・文学部)、「小動物の水洗ラックでの飼育、特に出産について」河口充宏先生(林原生物化学研究所)、「実験動物飼育施設より分離される緑膿菌の血清型について」北 徳・山下貢司各先生(川崎医科大・実験動物飼育センター)・山口 司先生(川崎医科大・附属病院中央検査部)。

第8回研究会 昭和60年9月28日(土)13:30
～ 川崎医科大学メディカルミュージアム小講堂 世話役 山下貢司先生 一般講演(4題)「実験用ウサギの無菌人工哺育について」小郷 哲・北 徳・山下貢司各先生(川崎医科大・実験動物飼育センター)、「ラットの実験系球体腎炎の起こりやすい系統、起きづらい系統」佐渡義一・内藤一郎・沖垣 達各先生(重井医学研究所)、「川崎医大メディカルミュージアムにおける肉眼標本の作製:実験動物の利用について」広川満良・三宅康之・原田由美・上野幸子各先生(川崎医科大)、「中央実験動物施設の備えるべき機能とそれを機能させるに必要な条件について」北 徳先生(川崎医科大・実験動物飼育センター)、交見会:テーマ1「動物実験施設中央化の得失」、テーマ2「動物実験における研究者と技術者の役割分担」。

臨時特別講演会 昭和60年11月5日(火)
15:10～ 岡山大農学部講義室 特別講演1題
「New inbred and congenic strains mice developed for biomedical research in Poland」ポーランドにおいて医学生物学研究用に対して新しく開発された近交系マウスならびにCongenic strain マウスについて Dr. Alina Crarnomska(ポーランド・ワルシャワ癌研究所, ICLAS Histocompatibility Center)

第9回研究会 昭和60年12月14日(土)13:30
～ ノートルダム清心女子大学ジュリーホール大会議室 世話役 高橋正侑先生 一般講演(5題)「実験動物とミネラル、Rat を中心として」高橋正侑先生(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「草食小動物における大腸の飼料消化能」坂口 英先生(岡山大・農学部)、「Golden Hamster の生育に及ぼす給餌・給水条件の影響」河口充宏先生(林原生物化学研究所)、「ゴールデン・ハムスターの成長における性二型について」山田明央氏(岡山大・農学部)、「抗生物質とアルコール」亀井千晃・田坂

賢二先生(岡山大・薬学部)。

第10回研究会 昭和61年5月10日(土)

13:30～ 岡山大学農学部第5講義室 世話役 猪 貴義先生 一般講演(4題)「自動水洗ラックによる実験用小動物の大量飼育」河口充宏・高木栄太郎・馬場洋子・二溝久江・佐藤芳範・栗本雅司各先生(株林原生物化学研究所)、「顆粒球系骨髄細胞の増殖について」中矢直樹氏・田坂賢二先生(岡山大・薬学部)、「霊長類胃粘膜の比較形態」鈴木一憲・永井 廣各先生(岡山大・歯学部)、「実験動物としての日本ウズラの開発」佐藤勝紀(岡山大・農学部)、シンポジウム「動物の集団をどのようにとらえるか」(3題)「昆虫の集団」吉田敏治先生(岡山大・農学部)、「動物集団の行動についての一解析」渡辺宗孝先生(岡山大・教養部)、「実験動物における社会構造と密度効果」河本泰生先生(岡山大・農学部)。

第11回研究会 昭和61年9月13日(金)

14:00～ 重井医学研究所 4階講堂 世話役 妹尾左知丸所長・沖垣 達先生 話題提供「最近の実験動物の開発と設備、施設に関する話題」(2題)「MCH動物の開発」田中福志氏(日本クレア)・斎藤宗雄・吉村幸夫各先生(実中研)、「バイオハザード対策の設備及び施設計画」掘田勝氏(日本クレア)、特別講演(2題)「実験動物とのつき合い」妹尾左知丸先生(重井医学研究所所長)、「原爆放射線がもたらした災害ーレントゲンからチェルノブイリまで」阿波章夫先生(広島放射線影響研究所・遺伝学部長)。

第12回研究会 昭和61年12月6日(土)

14:00～ 株林原生物化学研究所・藤崎研究所会議室 世話役 栗本雅司所長 特別講演(1題)「実験動物における Genetic Monitoring の意義と役割」山田淳三教授(京都大・医学部)、一般講演(3題)「スunksの歯の発生」近藤信太郎先生(岡山大・歯学部)、「Dietary Fiber について」中永征太郎先生(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「自動水洗ラックを用いた小動物の大量飼育」佐藤芳範先生(株林原生物化学研究所)、研究会会則(第6条)改正について審議、承認、懇親会。

第13回研究会 昭和62年3月30日(土)

14:00～ 岡山大学医学部臨床講堂 発生工学懇談会、岡山バイオ懇話会との共催 世話役 永井 廣先生 フォーラム「生物のかたち作りの謎をとくー発生工学への道」記念講演 Nicole M. LeDouarin(ニコル・M・ルドワラン)教授: フランス科学振興発生学研究所所長、京都賞・先端技術部門受賞、賛助講演「細胞をよりわかる分子と動物のかたち作り」竹市俊雅教

授(京都大・理学部)。

第14回研究会 昭和62年9月5日(土)13:30

～ 岡山大学薬学部大講義室 世話役 田坂賢二先生 一般講演(7題)「実験動物としての海産無脊椎動物」三枝誠行先生(岡山大・教養部)、「AKRマウスのけいれんと脳内モノアミン」片山泰人・加太英明・森 昭胤各先生(岡山大・医学部・脳代謝研究施設)、「小動物の大量飼育における自動給餌器の開発」石川哲之・河口充宏・佐藤芳範・栗本雅司各氏(株林原生物化学研究所)・倉林 讓先生(岡山大・医学部)、「マウスにおける自発行動と親行動について」野崎大典氏・猪 貴義先生(岡山大・農学部)、「イヌの migrating myoelectric complex に対する cholecystokinic の作用」亀井千晃・田坂賢二各先生(岡山大・薬学部)、「霊長類の胃粘膜における粘液物質の分布と機能」鈴木一憲・永井 廣各先生(岡山大・歯学部)、「Wistar系ラットの行動の時系列的分析ーFT(fixed time)のスケジュールを用いて」杉本完二氏(岡山大・文学部)、懇親会。

第15回研究会 昭和62年12月5日(土)

13:30～ 岡山郵便貯金会館 特別講演(3題)「動物の行動に関する記憶の機制」平野俊二先生(京都大・文学部)、「哺乳類中枢神経系の発生と分化」御子柴克彦先生(大阪大・蛋白質研究所)、「実験動物における発生工学の進歩」豊田 裕先生(東京大・医科学研究所)、懇親会。

第16回研究会 昭和63年5月28日(土)13:30

～ 岡山大学文学部会議室 世話役 三谷恵一先生 特別講演(1題)「動物実験に影響する諸要因とその制御」後藤信男教授(神戸大農学部)、一般講演(3題)「ウズラ卵殻腺のカルシウム輸送細胞に関する微細構造学的研究」山本敏男・永井 廣各先生(岡山大・歯学部)、「アロキサン誘発糖尿病高発症系・低発症系マウスの選抜育種と両近交系間の耐糖能の比較」尾方英徳氏・猪 貴義先生(岡山大・農学部)、

「Interractions of some trace element nutrients and xenobiotics metabolism」Dr.G.Stanley Smith (Deartment of Animal and Range Sciences, New Mexico State University, Professor)。

第17回研究会 昭和63年12月10日(土)

15:00～ 岡山大学歯学部第1講義室 歯学部口腔解剖第1講座との共催 世話役 永井 廣先生 特別講演(2題)

「咀嚼システムにおける感覚入力の影響」窪田全次郎先生(東京医科歯科大学名誉教授)、「Basic research in teratology」Dr.G.H.Schumacher (Rostock University,

Professor)。

第18回研究会 平成元年12月2日(土)14:00～まきび会館(現ピュアリティまきび) 特別講演(3題)「実験動物としてみた節足動物」山口恒夫教授(岡山大・理学部)、「実験動物としてのショウジョウバエ」浅田伸彦先生(岡山理科大・理学部)、「バイオテクノロジーの応用による新しい実験動物の開発」東條英昭先生(富山医科薬科大)、懇親会。

第19回研究会 平成2年6月30日(土)14:00～岡山大学農学部第5講義室 世話役 猪貴義先生 一般講演(6題)「近交系シリアンハムスターにおける多型性の有無の検討-mtDNA制限酵素切断型を用いて」山下 撰¹氏・猪 貴義¹・米田嘉重郎²各先生(¹岡山大・農学部、²東京医大・動物実験センター)、「線虫 C.エレガンス麻酔剤応答異常に関わる遺伝子群」安藤秀樹氏(岡山大・理学部)、「C58 マウスのけいれんについて」片山泰人先生(岡山大・医学部)、「ハムスター出産日のコントロールによる出産仔利用率の向上」花谷利春・杉本純夫・田中恵美・滝本 晃・齊藤 聡・杉本利行・栗本雅司各先生(梶林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「白ネズミにおける食餌のBulkと摂取量」中永征太郎先生・彌益あや・佐藤孜郎各氏(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「F344/DuCrラットにおける円または三角形刺激の後期分化的知覚学習の効果(2) -円刺激または三角形刺激の単側提示検査の結果」三谷恵一教授(岡山大・文学部)、懇親会。

第20回研究会 平成2年12月1日(土)14:00～まきび会館 特別講演(3題)「動物実験における腎症候性出血熱の発生と終息」山之内孝尚先生(元大阪大・微生物研究所 教授)、「神経細胞の雑種形成」石井一宏先生(京都大・ウイルス研究所)、「アセチルコリンおよびヒスタミン吸入に対する気道感受性を異にするモルモット2系統の選抜育種」三上博輝先生(日本臓器株・生物活性科学研究所)、研究会会則の改正についての審議、承認、懇親会。

第21回研究会 平成3年7月12日(金)13:00～林原生物化学研究所・吉備製薬工場 世話役 栗本 雅司所長・佐藤芳範工場長 特別講演(2題)「癌と動物」栗本雅司先生(梶林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「岡山の自然と生物」三枝誠行先生(岡山大・教養部)、一般講演(2題)「ラット肝臓メチオニン代謝に及ぼすビタミンB₁₂欠乏の影響」河田哲典先生(岡山大・教育学部)、「嘔吐運動のパターンを形成する中枢神経機構」古我知成・福田博之各先生(川崎医科大)、工場見学、懇親会(体験学習農園)。

第22回研究会 平成3年11月30日(土)13:30～まきび会館 特別講演(3題)「動物の子育てについて」福本幸夫先生(広島市安佐動物公園)、「今注目をあびている実験動物“スunks”について」松本則夫先生(東京大・薬学部)、「ヒト疾患モデル動物の開発」猪 貴義教授(岡山大・農学部)、岡山実験動物研究会名誉会員(猪 貴義先生)の授与・表彰式、懇親会。

第23回研究会 平成4年6月20日(土)13:00～岡山県総合畜産センター 世話役 牧野充伸次長及びセンター関係者、昼食会(まきびの館)、特別講演(2題)「哺乳動物初期胚の凍結保存と体外受精」野上興志郎先生(岡山県総合畜産センター・専門研究員)、「薬効開発と疾患モデル動物」新井成之先生(梶林原生物化学研究所・藤崎研究所)、場内見学。

第24回研究会 平成4年12月4日(金)13:00～まきび会館 特別講演(3題)「医学・生物学における先端技術としての放射線利用」大原弘教授(岡山大・教養部)、「がんと免疫」中山睿一教授(岡山大・医学部)、「環境の発がん物質に対するヒト曝露の研究手法」早津彦哉教授(岡山大・薬学部)、懇親会。

第25回研究会 平成5年6月18日(金)13:30～重井医学研究所 岡山県新技術振興財団との共催 世話役 沖垣 達所長及び関係者 一般講演(3題)「初期経験と後期経験との組合せによる心理的機能と生理的機能の変化」三谷恵一教授・Ben Hassine Dhaigham・Dueri Fabiola 各氏(岡山大・文学部)、「吉備製薬工場のハムスター生態の観察(その1) 昼間と夜間の交尾行動」川崎翁史・池上哲也・中嶋尚丈・三藤雅之・古田拓司・山根由弘・安藤駿作各先生(梶林原生物化学研究所・吉備製薬工場)、「スunks脳の糖脂質分析」渡辺清博先生(重井医学研究所)、特別講演(1題)「動物におけるシートからの形づくり」本多久夫先生(新技術事業団・古里再生機構プロジェクト)。

第26回研究会 平成5年12月17日(金)13:00～まきび会館 岡山県新技術振興財団共催 招待講演(1題)「モンゴル・ゴビ砂漠における恐竜調査」石井健一教授(近畿大・梶林原自然科学博物館 準備室長)、記念講演(2題)「実験動物と私達」矢部芳郎教授(岡山大・医学部)、「動物としての細胞」田坂賢二教授(岡山大・薬学部)、岡山実験動物研究会名誉会員(矢部芳郎先生、田坂賢二先生)の授与・表彰式、懇親会。

第27回研究会 平成6年6月25日(土)14:00～岡山大学教育学部 岡山県新技術振興財団共催 世話役 河田哲典先生 一般講

演(3題)「イヌの中樞神経による胆汁排出と自律神経性胆汁排出調節」古川直裕¹・岡田博匡²各先生(¹川崎医大・²川崎医療福祉大)、「ヒト IFN- α プロモーターを使用した糖蛋白質産生システム」伊藤(旧姓:佐藤)美千代・森 哲也・山本康三・太田恒孝・阪本知代・小出一広・村上欽俊・藤井光清・福田恵温・栗本雅司各先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「ムコ多糖症モデルラットにおける疾患原因遺伝子の解析」国枝哲夫先生(岡山大・農学部)、特別講演(1題)「内分泌細胞における細胞増殖の調節」高橋純夫先生(岡山大・理学部)。

第28回研究会 平成6年12月2日(金)13:00～メルパルク OKAYAMA(岡山郵便貯金会館)岡山県新技術振興財団との共催 特別講演(2題)「実験動物とワクチンの品質管理」小野耕一先生((財)阪大微生物研究会)、「遺伝子ノックアウトマウス作製と免疫応答解析への応用」高井俊行先生(岡山大・工学部)、招待講演(1題)「ケージサイズについて考える」佐藤徳光先生(新潟大・医学部・附属動物実験施設)、懇親会。

第29回研究会 平成7年7月1日(土)13:15～ノートルダム清心女子大学 岡山県新技術振興財団共催 世話役 高橋正侑先生 一般講演(3題)「ラット・マウスの辜丸に及ぼすビタミンB₁₂欠乏の影響」河田哲典先生(岡山大・教育学部)、「モルモットを用いたアレルギー性結膜炎モデルの作成とその応用」高田美穂女史・山地雅子・出石啓治・杉本幸雄・亀井千晃各先生(岡山大・薬学部)、「嘔吐運動のパターンを形成する中枢神経機構 その2」古我知成・福田博之各先生(川崎医科大)、特別講演(1題)、「抗がん剤誘発脱毛モデル動物の作成と脱毛抑制剤」高畑京也先生(岡山大・農学部)、懇親会。

第30回研究会 平成7年12月1日(金)13:00～メルパルク OKAYAMA(郵便貯金会館)岡山県新技術振興財団共催 記念写真撮影、特別講演(4題)「家庭を取り巻く害虫」三宅 忠氏(岡山ペストコントロール協会)、「ゴキブリよもやま話」西村 昭先生(アース製薬株・研究顧問)、「動物睡眠-防衛行動としての死んだふり」酒井正樹先生(岡山大・理学部)、「細胞ガン化の機構」清水憲二教授(岡山大・医学部)、懇親会。

第31回研究会 平成8年6月29日(土)13:10～川崎医科大学・附属図書館講堂 岡山県新技術振興財団共催 世話役 初鹿了先生 一般講演(4題)、「昆虫腹筋の神経支配とその興奮性接合部位電位の生理学的性質」川崎

史子・喜多 弘各先生(川崎医科大)、「ヒト白血病細胞株のハムスター着生試験とその有効利用について」古谷聡美・伊藤美千代・新井成之・栗本雅司各先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「アレルギー性疾患モデルとしてのBN系ラットの有用性」大石浩子氏・杉本幸雄・亀井千晃各先生(岡山大・薬学部)、「4型コラーゲンの自己免疫疾患である抗 CBN 抗体腎炎の動物モデルによる解析」佐渡義一先生(重井医学研究所)、特別講演(1題)「広島大学医学部附属動物実験施設の紹介と実験動物の眼検査について」古川敏紀先生(広島大・医学部・附属動物実験施設)。

第32回研究会 平成8年11月29日(金)13:00～ルネサンス岡山(ギャラリー・ルネサンス)岡山県新技術振興財団共催 特別講演(3題)「大型ウサギの実験動物化に関する研究」松田幸久先生(秋田大・医学部・附属動物実験施設)、「コラーゲン遺伝子改変と動物疾患モデル」二宮義文教授(岡山大・医学部)、「マスト細胞分化異常動物」北村幸彦教授(大阪大・医学部)、懇親会(カフェ・ルネサンス)。

特別講演会 平成9年3月6日(木)15:00～岡山大学農学部講義室 特別講演「Recent cytogenetic investigation in livestock in Europe - an overall view」Dr. Gerald Stranzinger (Swiss Federal Institute of Technology, Professor)。

第33回研究会 平成9年7月12日(土)13:15～岡山大学農学部 世話役 佐藤・国枝 一般講演(4題)、「マウス Anti-mullerian hormone receptor 遺伝子のマッピング」小鹿泉氏・国枝哲夫先生(岡山大・農学部)、「小型熱帯魚グッピーの放射線生物学」大原 弘教授(岡山大・理学部)、「コカイン反復投与におけるマウスの痙攣感受性亢進におけるポリアミンの役割」霜里和朗¹・渡辺 悟¹・桂昌 司¹・大熊誠太郎¹・斎藤泰一²各先生(川崎医科大・薬理学、²川崎医療福祉大・医療福祉学部・保健看護学科)、「ウサギのケージ内における行動学的観察-特に在来型 FRP ケージと SCANBER ケージとの比較について」倉林 譲先生・上山和貴・大光宗義各氏(岡山大・医学部・附属動物実験施設)、特別講演(1題)「ヒト Wilson 病モデル、肝癌モデル、免疫不全モデルとしての LEC ラット」松本耕三先生(徳島大・医学部・附属動物実験施設)、懇親会(農学部中会議室)。

第34回研究会(創立15周年記念大会) 平成9年11月28日(金)13:00～メルパルク OKAYAMA 岡山県新技術振興財団共催 記念写真撮影、記念講演(1題)「ライフサイエンスの

展開と実験動物」猪 貴義先生(岡山大学名誉教授・日本実験動物協会副会長)、特別講演(2題)

「疾患モデル動物の開発とその応用」菊池建機先生(国立精神・神経センター・モデル動物開発部・部長)、「癌の遺伝子治療」田中紀章教授(岡山大・医学部・第一外科)、懇親会。

第35回研究会 平成10年7月18日(土) 13:30～ 岡山大学薬学部大講義室 岡山県新技術振興財団共催 世話役 亀井千晃先生 一般講演(4題)「白ネズミにおける食餌のエネルギー・食物繊維化と糞便の形状について」中永征太郎教授(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「育種選抜によるハムスター法改善の可能性について」野村 穰・久保田研二・小出一広・伊藤美千代・池田雅夫・栗本雅司各先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「ラット脳波におよぼす抗ヒスタミン薬の影響」齊藤康一氏・亀井千晃先生(岡山大・薬学部)、「マウスXVIII型コラーゲンの組織内局在」内藤一郎¹・香川 恵¹・二宮善文²・佐渡義一¹各先生(¹重井医学研究所、²岡山大・医学部)、特別講演(1題)「薬物依存形成における diazepam binding inhibitor (DBI) の役割」大熊誠太郎・桂昌司各先生(川崎医科大・薬理学教室)、岡山大農学部・薬学部動物実験施設見学、懇親会。

第36回研究会 平成10年11月27日(金) 13:30～ 岡山国際交流センター・国際会議場 岡山県新技術振興財団後援 特別講演(2題) 「両生類の経皮的な水分摂取機構と陸上適応」上島孝久先生(岡山大・教育学部)、「骨粗鬆症疾患モデルとその評価について」西崎泰司先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所)、記念講演(1題)「内分泌攪乱物質(環境ホルモン)の何が問題か」井口泰泉先生(横浜市立大学・理学部、現岡崎国立共同)、懇親会。

第37回研究会 平成11年5月26日(水) 13:30～ 岡山大学医学部図書館(鹿田分館)3階講堂 岡山県新技術振興財団共催 世話役 倉林 讓先生 一般講演(2題)「Tg 動物飼育用ラック「ルフテン Tg」の開発」斎藤正信¹・大城匡豊¹・銀 一之²・橋詰俊雄²各氏・倉林 讓³先生(¹大気社、²白銀工業株、³岡山大・医学部・附属動物実験施設)、「免疫グロブリン遺伝子 knock-in マウスを用いる抗体の親和性成熟機構の解析:RAG 遺伝子産物は関与するか」曲正樹¹・金山直樹¹・疋田正喜¹・Marilia Cascalho²各氏・大森齊¹先生(¹岡山大・工学部・生物機能工学、²Dept. Microbiol. Immunol., UCSP, USA)、特別講演(2題)「上海実験動物科学の進展」王楠田先生(上海実験動物科学專業委員会会長)、「生体部分肝移植につい

て」清水信義先生(岡山大・医学部・第2外科)、懇親会。

第38回研究会 平成11年11月24日(水) 13:30～ メルパルク OKAYAMA 岡山県新技術振興財団後援 特別講演(2題)「Tg 動物飼育システム STAR 及び STAR/OK の紹介」柳原 茂氏(東洋熱工業株)、「モンゴル恐竜共同調査6年間の歩み」鈴木 茂先生(林原自然科学館)、招待講演(1題)、「最近の家畜ゲノム解析—ブタ MHC クラス II 遺伝子と牛 Mx タンパク質遺伝子」小松正憲先生(農林水産省中国農業試験場畜産部・育種繁殖研究室)、懇親会。

第39回研究会 平成12年7月8日(土)13:30～ 岡山大学文学部会議室 岡山県新技術振興財団後援 世話役 三谷恵一先生 一般講演(3題)「パターンは右視野で視覚走査され、水平線分は垂直線分よりも誘目性が高い—30-30-40msec 行動解析—」三谷恵一先生(岡山大・大学院・自然科学研究科・文学部)、「四元雑種由来マウスコロニーに出現した骨格異常突然変異の解析」新海雄介氏・河本泰生・国枝哲夫各先生(岡山大・農学部)、「マウス居住性から見た現在市販床敷ベスト10」倉林 讓先生(岡山大・医学部)、特別講演(1題)「医薬品開発サポート業の現状」金田平八郎氏(株ラビトン研究所、大阪医薬品臨床開発研究所)、金田平八郎氏を囲む夕食会(割烹 武蔵)。

第40回研究会 平成12年12月8日(金) 13:30～ メルパルク OKAYAMA 岡山県産業振興財団(旧岡山県新技術振興財団)後援 特別講演(2題)「機能性食品業界の最近の動向」井上良計先生(備前化成株・研究開発部)、「無視できない線虫の話」香川弘昭先生(岡山大学院・自然科学研究科・理学部)、記念講演(1題)「実験動物研究の50年を顧みて」猪 貴義先生(岡山大学名誉教授、本会名誉会員)、懇親会。

第41回研究会 平成13年6月22日(金) 13:30～ 榊林原生物化学研究所・藤崎研究所 世話役 栗本雅司所長 一般講演(4題)「V(D)J 組換え依存性の蛍光標識法による RAG 遺伝子発現細胞の検出と解析」西川恵美子¹・三木貴雄¹・金山直樹¹・疋田正喜^{1,2}各氏・大森 齊先生¹(¹岡山大・工学部、²PRSTO, JST)、「プリオン蛋白ペプチド(PrP106-126)によってラット下垂体由来細胞株 GH3 に誘導される細胞死の形態学および生化学的検討」山下 撰氏^{1,2}・久保正法²・横山 隆²・三浦克洋²各先生(¹元科学技術振興事業団・科技特研究員、¹岡山大・農学部、²農林水産省家畜衛生試験場:現特別行政法人動物衛生研究所)、「トレハラーゼノックアウトマウスの作出と表現型解析」平

田京子・紙谷隆志・松本修二・有安利夫・新井千加子・京野文代・吉實知代・栗本雅司各先生(株林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「これからの動物実験施設を考える」夏目克彦氏(株夏目制作所)、特別講演(1題)「多因子疾患原因遺伝子 Positional Cloning への取り組みー肥満・高脂血症・高血糖を支配する遺伝子の解明ー」渡邊 武先生(大塚製薬(株)大塚 GEN 研究所)、見学、懇親会(つしま苑)。

第42回研究会 平成13年11月30日(金)

13:00～ まきび会館 岡山県産業振興財団後援 賛助会員による講演(1題)「弊社業務内容案内」菅野史朗氏(ハムリー(株))、特別講演(2題)「細胞死(アポトーシス)のシグナル伝達機構と生体における役割」酒巻和弘先生(京大・大学院生命科学研究科)、「がんと免疫」中山睿一先生(岡山大大学院・歯学総合研究科・免疫学)、懇親会。

第43回研究会 平成14年6月7日(金)13:30～

重井医学研究所 世話役 内藤一郎先生一般講演(3題)「WS4 マウスにおけるエンドセリン B レセプター遺伝子の解析」大谷 真¹・新海雄介¹各氏・松島芳文²・橘 正芳²・国枝哲夫¹各先生(¹岡山大大学院・自然科学研究科、²埼玉県立がんセンター研究所)、「マウスの皮膚反応におけるヒスタミン H3 受容体の関与」ホッセン・マリア氏・杉本幸雄・亀井千晃各先生(岡山大・薬学部・薬物学教室)、「フタホシコオロギのフェノール酸化酵素の性状」浅田伸彦先生¹・横山元太¹・帆足梨栄¹・武田美樹¹・野地澄晴²(¹岡山理科大、²徳島大工学部)、賛助会員による講演(1題)「株式会社ナルクのビーグル生産事業・実験動物受託飼育事業の概要」橋本匡司氏¹・桜田新一¹・大岩一雄¹・丸山みゆき¹・佐藤尚行²・山崎章弘²・大島誠之助¹(¹株ナルク、²日本農産工業(株))、特別講演(1題)「今日の生殖医療の現状と問題点」沖津 摂・三宅 馨各先生(三宅医院 IVF センター)、懇親会。

第44回研究会(創立20周年記念大会) 平成14年11月29日(金)13:30～

メルパルク OKAYAMA 日本生物工学会西日本支部協賛 賛助会員による講演(2題)「有限会社山本理化学の事業概要」山本義明氏(有山本理化)、「弱酸性次亜塩素水を用いた動物実験施設での衛生管理の可能性 ホルマリン燻蒸に替わる新たな消毒資材としての活用 飼育汚物排水の消毒処理への応用の可能性」山下光治氏(株エイチ・エス・ピー)、特別講演(1題)「脳と知覚学習ー環境心理学の再出発ー」三谷惠一先生(岡山大・文学部・行動科学科心理学教室)、記念講

演(1題)「実験動物科学の目覚ましい進歩発展を顧みて、見逃されている大切な問題を考える」今道友則先生((財)動物繁殖研究所名誉理事長・日本獣医畜産大学名誉教授・日本動物看護学会会長)、懇親会。

第45回研究会 平成15年6月13日(金)

13:30～ 岡山大学文化科学系総合研究棟4階オープンラボラトリーA 多目的スペース 世話役 河田哲典先生 賛助会員による講演(1題)「動物実験製品紹介ー医療機器メーカーからの視点からー」平林白一・鴻池将義各氏(泉工医科工業(株))、一般講演(3題)「ビタミン B12 欠乏ラット精巢の組織学的変化の発現に及ぼすメチオニン添加の影響」河田哲典先生¹・山本祐司²・田所忠弘²・前川昭男²・和田政裕先生³・田中信夫⁴(¹岡山大・教育学部、²東京農業大・応用生物、³城西大・薬学部、⁴静風荘病院)、「ラットの睡眠障害モデルの睡眠覚醒サイクルに対する短期間型催眠薬の効果」四宮一昭氏・重本有紀・藤井陽子・

亀井千晃先生(岡山大・薬学部・薬物作用解析学)、「被毛異常突然変異遺伝子(*ypc*)における分子遺伝学的解析 Genetic analysis of the *ypc* mouse with poor coat phenotype」外甚賢太郎氏¹・辻 岳人先生¹・山本美江²・高野 薫²・小倉淳郎³・松田潤一郎²・国枝哲夫先生¹(¹岡山大大学院・自然科学研究科、²国立感染症研究所、³理化学研究所 BRC)、特別講演(1題)「カメムシの飼育と応用に関する最近の話題」安永智秀先生(岡山大・教育学部・動物学研究室)、三谷研究室見学、懇親会(岡山大・ピーチユニオン)。

第46回研究会 平成15年11月28日(金)

13:30～ ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 賛助会員による講演(1題)「実験マウス(ラット局所)用エックス線骨密度/体脂肪測定装置 PIXImus 2(ピクシマウス)」小西雅久氏¹・細井 實²(¹GE 横河メディカルシステム(株)、²株メディケアー)、特別講演(1題)「クラレにおける化学物質の有害性評価への取り組み」嶋村三智也氏(株クラレ・構造物性研究所)、招待講演(1題)「サル ES 細胞樹立と再生医療研究への応用」鳥居隆三先生(滋賀医科大・動物生命科学研究センター)、懇親会。

第47回研究会 平成16年6月25日(金)

13:30～ 川崎医科大学・別館6階大会議室 世話役 辻岡克彦先生 賛助会員による講演(1題)「殺菌と洗浄について」古本尚希氏(乾商事(株)・医療 I グループ)、一般講演(3題)「ヒト角膜上皮細胞を用いた弱酸性次亜塩素酸水の

安全性予備試験の試み」山下光治氏¹・小野朋子¹・三宅真名¹・那須玄明¹・増田 礎¹各氏・倉林 讓²先生(¹ ㈱エイチ・エス・ピー、² 岡山大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門)、「クラレにおける培養細胞を用いる化学物質発癌性評価の取り組み」小平和久氏(㈱クラレ・構造物性研究所)、「skeletal fusion with sterility(*sks*)突然変異マウスの分子遺伝学的解析」秋山耕陽氏¹・野口純子²・辻 岳人¹・国枝哲夫¹各先生(¹ 岡山大大学院・自然科学研究科、²(独)農業生物資源研究所)、特別講演(1題)「In vitro と In vivo のはざままで」沖垣 達先生(重井医学研究所名誉所長・本会理事)、懇親会。

第48回研究会 平成16年11月26日(金)
13:30～ ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 一般講演(4題)「ヘアレスマウスを用いた新規アトピー性皮膚炎モデルの開発」田窪美保氏・津室多栄・亀井千晃先生(岡山大・薬学部・薬物作用解析学)、「TDI 点鼻により誘発される鼻閉症状における抗ヒスタミン薬の効果」津室多栄氏・田窪美保・亀井千晃先生(岡山大・薬学部・薬物作用解析学)、「ニワトリ B 細胞株を用いたタンパク分子改変システムの構築：変異導入機能の ON/OFF 制御」藤堂景史氏・曲正樹・金山直樹・大森 斉先生(岡山大・工学部・生物機能工学科)、「Hairy ears (*EH*) マウスが持つ染色体逆位の切断点の特定」片山健太郎氏・宮本沙也佳・古野亜紀・辻 岳人・国枝哲夫各先生(岡山大大学院・自然科学研究科)、特別講演(1題)「軟骨形成不全症モデル動物を用いた長管骨の成長を制御する遺伝子の解析」辻 岳人・国枝哲夫各先生(岡山大大学院・自然科学研究科)、記念講演(1題)「犬の来た道」田名部雄一先生(岐阜大学名誉教授)、懇親会。

第49回研究会 平成17年6月24日(金)
13:30～ 岡山理科大学創立40周年記念館ホール 世話役 浅田伸彦先生 一般講演(3題)「矮小突然変異(SLW)マウスの原因遺伝子の解析」曾川千鶴氏・辻 岳人・国枝哲夫各先生(岡山大大学院・自然科学研究科)、「末梢 B 細胞の親和性成熟機構の解析」香山絵美・岡澤貴裕・曲 正樹・金山直樹各氏・大森 斉先生(岡山大大学院・自然科学研究科・細胞機能設計学)、「アルミニウム投与による生体内蓄積に関する研究」愛甲博美先生(岡山理科大・理学部)、特別講演(1題)「動物園と動物たち、そして人」赤迫良一氏(㈱池田動物園)、招待講演(1題)「野生由来マウス系統の遺伝的多様性を利用した行動の遺伝学的解析」小出 剛先生(国立遺伝

学研究所・マウス開発研究室)、懇親会。

第50回研究会 平成17年12月2日(金)
13:30～ ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 招待講演(1題)「DNA 診断で偽装表示と美味しい牛肉を見抜く」万年英之先生(神戸大大学院・自然科学研究科資源生命科学専攻)、記念講演(1題)「実験小動物における全身麻酔」倉林 讓先生(岡山大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門)、懇親会。

第51回研究会 平成18年6月23日(金)
13:30～ ノートルダム清心女子大学・大会議室 世話役 中永征太郎先生・高橋正侑先生 賛助会員による講演(1題)「小動物用吸入麻酔装置の開発」井上政昭氏(㈱スカイネット)、一般講演(4題)「実験動物技術師1級取得の挑戦」小平和久氏(㈱クラレ・構造解析センター)、「実験動物メダカ自然集団の遺伝的変異」河田尚子氏¹・山口佳秀¹・谷川晋一¹・竹内哲郎²・浅田伸彦¹各先生(¹ 岡山理科大・理学部基礎理学科、² 元就実女子大人文学部)、「3分搗米の2型糖尿病自然発症ラットの血糖値におよぼす影響」泉友美子氏¹・浅野史也²・堀野俊郎³・菊永茂司先生¹ (¹ ノートルダム清心大、² みのる産業(株)、³ 玄米研究所)、「局所脳虚血モデルの作成と実験経過」森本尊雅・新郷哲郎・伊達勲各先生(岡山大大学院・医歯薬学総合研究科・神経病態外科学)、特別講演(1題)「実験動物としての盲腸摘出ラットの評価」坂口 英先生(岡山大大学院・自然科学研究科(農学系))、懇親会。

第52回研究会 平成18年12月8日(金)
13:30～ ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 特別講演(2題)「実験動物としてのショウジョウバエ」百田龍輔先生(岡山大大学院・医歯薬学総合研究科・人体構成学)、「黒色鶏やカラスはなぜ黒い? ～下垂体中葉を欠く鳥類に体色制御の α -MSH 調節系は存在するか～」竹内 栄先生(岡山大・大学院自然科学研究科・理学部)、記念講演(1題)「食物繊維の機能とエネルギー値」中永征太郎先生(ノートルダム清心女子大)、懇親会。

第53回研究会 平成19年6月22日(金)
13:30～ 岡山大学創立50周年記念館・大会議室 世話役 佐藤・国枝 一般講演(3題)「ラットの学習・記憶のサーカディアンリズムに関する検討」藤高浩輝氏・益岡尚由・三上梓各氏・亀井千晃先生(岡山大大学院・医歯薬学総合研究科・薬効解析)、「マウス卵胞基底膜のIV型コラーゲン α 鎖構成」中野和代氏・内藤一郎・百田龍輔・大塚愛二各先生(岡山大大学院・医歯薬学総合研究科・人体構成学分野)、

「Limbin ノックアウトマウスが呈する骨形成異常に関する解析」稲本政隆氏¹・辻 岳人¹・神谷宣広²・竹田晴子³・三品裕司²・国枝哲夫各先生^(1 岡山大大学院・自然科学研究科、²アメリカ国立衛生研究所、³リエージュ大獣医学部)、教育講演(1題)「ナノテクノロジー材料の安全性問題を認識するために(調査報告)」嶋村三智也氏(㈱クラレ・くらしき研究所・構造解析グループ)、特別講演(1題)「倫理的動物実験の実践へ向けて～動物実験関係者の社会的責任を明確に、具体的に～」北 徳先生(倉敷芸術科学大・生命動物科学科 非常勤・元川崎医科大・医用生物センター)、懇親会。

第54回研究会 平成19年12月8日(金)

13:30～ ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 特別講演(3題)「コオロギを実験動物とした生物時計の解析:時計遺伝子 *period* のリズム発現機構における機能解析」富岡憲治先生(岡山大大学院・自然科学研究科・バイオサイエンス専攻)、「性決定機構・性判別の研究から出発して～マウス、トゲネズミ、ウシ等に関するトピックス～」須藤鎮世先生(就実大薬学部・遺伝子解析学)、「糖尿病性壊疽に対するマゴットセラピーの可能性」三井秀也先生(岡山大大学院・医歯薬学総合研究科・心臓外科 講師)、懇親会。

第55回研究会 平成20年6月27日(金)

13:30～ IPU・環太平洋大学第1キャンパス・大講義室2 ペガサスキャンダル(株)協賛 世話役 三谷恵一先生 特別講演(3題)、「視覚の遺伝学」佐藤忠文先生(環太平洋大・次世代教育学部)、「休耕田を利用したアユモドキの保全活動」青 雅一先生(NPO 法人岡山淡水魚研究会)、「瀬戸町におけるアユモドキの生態調査」阿部 司氏(岡山大大学院・自然科学研究科 学振特別研究員)、シンポジウム「アユモドキ・・・絶滅させてはならない郷土の宝物」企画・司会 青雅司先生(国立病院機構岩国医療センター部長・NPO 法人岡山淡水魚研究会 理事長)(4題)「瀬戸町におけるアユモドキ産卵場所の発見まで」小林一郎氏(NPO 法人岡山淡水魚研究会 理事)、「岡山市の天然記念物アユモドキの保護・保全啓発の取組」岡本芳明氏(岡山市教育委員会文化財課 主任)、「アユモドキ生息のための障害」阿部 司氏(岡山大大学院・自然科学研究科 学振特別研究員)、「その他の取り組みと後継者育成」青雅一先生(NPO 法人岡山淡水魚研究会 理事長)、懇親パーティ。

第56回研究会 平成20年11月21日(金)

13:30～ ピュアリティまきび 日本生物工学会

西日本支部協賛 特別講演(2題)「岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門鹿田施設の管理・運営の実際—動物実験施設の管理・運営改革2年間を振り返って」樫木勝巳先生(岡山大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門)、「マメジカの生理学的特性」福田勝洋先生(岡山理科大・理学部)、記念講演(1題)「岡山大学農学部家畜育種学教室におけるマウスとウズラの研究紹介」佐藤勝紀(岡山大大学院・自然科学研究科)、懇親会。

第57回研究会 平成21年7月10日(金)

13:30～ 岡山大学工学部6号館12番講義室 世話役 大森 斉先生 特別講演(1題)「線虫 *C. elegans* の遺伝子と遺伝子の虫」香川弘昭先生(岡山大学名誉教授・理学部)、一般講演(5題)「消化管での糖の吸収メカニズムと消化管内の流れの関係」高橋 徹先生(美作大大学院)、「IL-21 の抗体の親和性成熟における新規な役割: ノックアウトマウスを用いた解析」藤井康正・西尾祐美・西川裕美子・金山直樹・曲 正樹各氏・大森 斉先生(岡山大大学院・自然科学研究科・細胞機能設計学)、「マウスの皮膚ならびに鼻アレルギーモデルに対するプロポリスの影響」神名祥史・矢野春奈・香川陽人各氏・亀井千晃先生(岡山大学薬学部・薬効解析)、「高脂肪食が ALS 系マウスの体重ならびに糖尿病病態に及ぼす影響」周 薇氏・国枝哲夫先生・佐藤勝紀(岡山大大学院・自然科学研究科)、「精子形成が減数分裂第一分裂前期で停止する ENU 誘発突然変異 *repro23* マウスの解析」浅野友香¹氏・野口純子²・秋山耕陽¹・辻 岳人¹・国枝哲夫¹各先生^{(1 岡山大大学院・自然科学研究科、² (独)農業生物資源研究所)}、懇親会。

第58回研究会 平成21年11月27日(金)

13:30～ ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 特別講演(2題)「DNA 検査の利用と実例紹介」米田一裕氏((有)米田遺伝子型研究所)、「日本鶏における形態的および遺伝的多様性ならびにその利用」都築政起先生(広島大大学院・生物圏科学研究科・家畜育種遺伝学研究室)、記念講演(1題)「花粉症と抗アレルギー薬の話」亀井千晃先生(岡山大大学院・医歯薬学総合研究科)、懇親会。

第59回研究会 平成22年7月2日(金)

13:30～ 岡山大学理学部1号館21番講義室 世話役 高橋純夫先生・竹内 栄先生 一般講演(2題)「マウス精巣において TMEM48/NDC1 と相互作用するタンパク質の探索」梶田晋平・秋山耕陽各氏・辻 岳人・国枝哲夫各先生(岡山大大学院・自然科学研究科)、「ラット脂質代謝に及ぼすトウガラシの効果」中村 翔・三宅数子・真鍋芳

江各氏・森脇晃義先生(中国学園大大学院・現代生活科学研究科)、特別講演(3題)「スックス(ジャコウネズミ)の実験動物化とその特性—とくに低温不耐性について—」織田銑一先生(岡山理科大・理学部動物学科)、「川崎医科大学医用生物センターにおける管理運営の現状～微生物制御、衛生管理を中心として～」井上真理子氏(川崎医科大・医用生物センター)、「両生類のように人間は再生できるようになるのか？」佐藤伸先生(岡山大・異分野融合先端研究コア RCIS)、懇親会。

第60回研究会 平成22年11月27日(金) 13:30～ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 賛助会員による講演(1題)「マイナスイオンの効能効果とマイナスイオン発生器(オーリラ)の開発と試験について」長澤通氏(株)GSD代表取締役)、特別講演(3題)「実験動物としてのウズラの有用性」高橋慎司・清水明・川嶋貴治各先生(国立環境研究所・環境研究基盤技術ラボラトリー生物資源研究室)「岡山理科大学理学部動物学科における動物資源」城ヶ原貴通先生(岡山理科大学理学部・動物学科)、「社会性昆虫における繁殖システムと役割分業の制御機構」松浦健二先生(岡山大大学院・環境学研究科・昆虫生態学研究室・農学部)、懇親会。

第61回研究会 平成23年7月1日(金)13:30～岡山理科大学第十学舎5階11052教室 世話役 福田勝洋先生・浅田伸彦先生 賛助会員による講演(1題)「最新の実験動物用マイクロX線CT装置～R_mCT2製品紹介」濱中功¹・細井實²各氏(株)リガクNDTイメージング事業部、²株)メディケアー・代表取締役)、一般講演(1題)「マウスにおける亜種間雑種の雄性生殖細胞に生じた減数分裂の異常の解析」西野里沙子氏・辻岳人・国枝哲夫各先生(岡山大学大学院・自然科学研究科)、特別講演(2題)「(社)日動協の実験動物技術者認定制度の概要と今後の展望」大和田一雄先生((社)日動協・認定専門委員会委員長、山形大医学部、(独)産業技術総合研究所研究環境安全本部)、「ナメクジウオ奮闘記—頭索動物ナメクジウオの飼育と研究—」安井金也先生(広島大大学院・理学研究科・生物科学専攻)、懇親会。

第62回研究会 平成23年11月25日(金) 1:30～ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛賛助会員による講演(1題)「動物実験施設等における脱臭・除菌を目的とした光触媒技術の応用」高岡秀氏(昭和セラミックス(株))、特別講演(2題)「植物培養細胞を活用して基礎研究と産学連携研究を追求して」濱田

博喜先生(岡山理科大・理学部臨床生命科学研究科・教授)、「実験動物と動物実験について今思うこと」西川哲氏((独)放射線医学総合研究所・研究基盤センター)、岡山実験動物研究会名誉会員(倉林讓先生)の授与・表彰式、懇親会。

第63回研究会 平成24年6月29日(金) 13:30～岡山大学教育学部本館407号室 世話役 河田哲典先生 一般講演(6題)「スックスにおけるスクラーゼ活性有無によるスクロースの嗜好性と摂取の影響」小田千寿江氏・城ヶ原貴通・織田銑一各先生(岡山理科大・理学部)、「草食性小型哺乳類の餌資源利用戦略—とくにロシアハタネズミのVFA利用性について—」平井洗次氏・城ヶ原貴通先生・織田銑一先生(岡山理科大・理学部・動物)、「パルバの低温耐性に関する研究—とくに日内休眠とUCP1について—」小林淳宏氏¹、城ヶ原貴通先生¹、子安和宏²、Orin B. Mock³、織田銑一先生¹(¹岡山理科大・理学部・動物、²愛知学院大・歯・解剖、³KCOM)、「酸化ストレスにより発症するアカタラセミアマウスにおける糖尿病について」上村若菜氏¹、藤原悠基²、松岡伸児²、前田あやみ¹、竹本和憲²、織田銑一先生¹・益岡典芳¹先生(¹岡山理科大学大学院・理学研究科、²岡山理科大・理学部)、「アマミトゲネズミの24時間行動観察」望月春佳氏、城ヶ原貴通先生、山田文雄氏(岡山理科大・理学部・動物)、「アマミトゲネズミの野外調査(生息密度と行動範囲の推定)」城ヶ原貴通先生¹、山田文雄²、越本知大³、木戸文香⁴、望月春佳¹、塩野崎和美⁵、黒岩麻里⁴(¹岡山理科大、²森林総研、³宮崎大、⁴北海道大院、⁵京都大院)、特別講演(2題)「脊髄を介するグレリンの大腸運動促進作用」平山晴子先生(岡山大・自然科学研究支援センター・動物資源部門)、「物質輸送における細胞間連携の重要性:心臓組織および内耳血管条組織を例として」安藤元紀先生(岡山大大学院・教育学研究科)、懇親会。

第64回研究会(創立30周年記念大会) 平成24年11月30日(金) 13:30～ピュアリティまきび 日本生物工学会西日本支部協賛 記念写真撮影、特別講演(1題)「岡山実験動物研究会30年のあゆみ」佐藤勝紀(岡山大学・農学部・本会名誉会員)、招待講演(1題)「実験用ラット研究の進展」芹川忠夫先生(京都大大学院・医学研究科附属動物実験施設・教授)、記念講演「安全の科学とリスクコミュニケーション」唐木英明先生(倉敷芸術科学大学・学長)、岡山実験動物研究会名誉会員(三谷恵一先生)の授与・表彰(2013年1月)の紹介、懇親会。

第65回研究会 平成25年7月12日(金) 13:30～ ノートルダム清心女子大学・中央棟649ND(4階) 世話役 菊永茂司先生 一般講演(6題)「ニワトリ筋ジストロフィーに関する研究」松本大和氏*・笹崎晋史・万年英之先生(神戸大学院・*現所属:岡山大学院)、「ニワトリ鞍部に生じる羽の性的二形形成機構」木幡衣恵氏¹・深尾彩加¹・平井彩乃²・高橋純夫先生^{1,2}・竹内 栄先生^{1,2}(¹岡山大学大学院自然科学研究科生物科学専攻,²岡山大学理学部生物学科)、「*repro23*マウス精巣におけるレトロトランスポゾンの発現解析」前川真穂氏・梶田晋平・浅野友香・秋山耕陽・国枝哲夫先生(岡山大学大学院環境生命科学研究科)、「ストレス性高体温試験とオープンフィールド試験によるコーヒー揮発性成分のストレス緩和作用:隔離飼育マウスを用いた検討」曾我部咲氏・鈴木真奈美・佐伯綾希子・貝原 瞳・林 泰資先生(ノートルダム清心女子大学・人間生活学部・食品栄養学科)、「酸化ストレスにより発症するアカタラセミアマウスの糖尿病に対するごぼうの効果」土井若菜氏¹・久保田康平²・榎谷麻奈²・佐々木康弘²・篠原悠希²・砂川早紀²・峠 安純²・竹本和憲²・織田銃一¹・益岡典芳各先生¹(¹岡山理科大学大学院理学研究科,²岡山理科大学理学部)、「アカネズミの繁殖期と行動圏の変化」池本真希氏・城ヶ原貴通・織田銃一各先生(岡山理科大学・理学部・動物学科)、特別講演(1題)「マウス初期胚発生と精子形成過程におけるオートファジー(自食作用)の役割」塚本智史氏(放射線医学総合研究所・生物研究推進課)、懇親会。

第66回例会 平成25年12月13日(金) 13:30～ 岡山理科大学・50周年記念館・4階多目的ホール 世話役:織田銃一先生(岡山理科大学・理学部)、特別講演(4題)「筋ジストロフィーニワトリの水分代謝異常」齋藤 昇先生(岡山大学大学院環境生命科学研究科・動物生理学)、「実験動物を用いた酢酸の肥満抑制効果の評価」山下広美先生(岡山県立大学・保健福祉学部・研究科)、「*Hox* 遺伝子と聴覚回路の発生」成田裕一先生(名古屋文理大学・健康生活学部・フードビジネス学科)「動物実験福祉—主観で語る覚悟を—」北 徳先生(倉敷芸術科学大学・生命動物科学科)、交流会。

第67回例会 平成26年7月11日(金) 13:30～ マスカットキューブ(地域医療人育成センター岡山)3階マスカットホール(岡山大鹿田キャンパス歯学部棟東側) 世話役 樺木勝巳先生・矢田範夫氏(岡山大・自然生命科学研究支援センター・動物資源部門・鹿田施設)、一

般講演(6題)「バーコードを利用した実験動物飼育管理データシステムの構築」上藤千佳氏・矢田範夫・上山和貴・荒川雅行・藤井匡寛・平山晴子・樺木勝巳各先生(岡山大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門)、「ジャコウネズミの核型分析による分布拡大経路の推定(予報)」平中夏海氏・城ヶ原貴通・織田銃一各先生(岡山理科大・理学部・動物学科)、「スunks Ous:KAT-s 系統における精巣萎縮の程度(予報)」松本泰宣氏・城ヶ原貴通・織田銃一各先生(岡山理科大・理学部・動物学科)、「食虫類の実験動物スunksにおける腹腔内投与ビタミンA(チョコラA)の催奇形感受性(予報)」本郷沙也加氏・織田銃一先生(岡山理科大・理学部・動物学科)、「マウス繁殖集団で新規に見いだされた失調歩行形質の遺伝様式とその特徴」古野 岬氏・織田銃一先生(岡山理科大・理学部・動物学科)、「マウス卵巣機能制御における転写因子 *Runx3* の生理的役割」小島史也氏・斉藤優佳・土家由紀子・御輿真穂・竹内 栄・高橋純夫各先生(岡山大・院・自然科学)、「ニワトリにおける羽色調節の品種差」高橋 徹氏・西尾香織・御輿真穂・高橋純夫・竹内 栄各先生(岡山大・院・自然科学)、特別講演(2題)「鳥類の性決定とアロマターゼ遺伝子」工藤季之先生(就実大・薬学部・薬学科)、「遺伝子改変マウスを用いた基礎医学研究」松山 誠先生(重井医学研究所・分子遺伝学部門)、懇親会。

第68回例会 平成26年11月28日(金) 10:00～12:00 岡山大学創立五十周年記念館・大会議室(2階) 一般講演(6題)「次亜塩素酸水溶液について」山下 光治氏(㈱エイチ・エス・ピー)、「コーヒー成分によるアレルギー性鼻炎の緩和について」佐伯綾希子氏¹・鈴木真奈美¹・曾我部 咲¹・白神俊幸¹・杉本幸雄²・林 泰資各先生¹ (1)ノートルダム清心女子大・大学院人間生活学研究科・食品栄養科学専攻、2)岡山大大学院医歯薬学総合研究科(薬学系)、「特定外来生物マングースの化学的防除手法の検討～ダイファシノンについて～」城ヶ原貴通先生¹、中田勝士²、Robert T Sugihara³、橋本琢磨⁴、遊部久瑠美¹、平山琢二⁵、山田文雄⁶ (1)岡山理科大、2)環境省やんばる野生生物保護センター、3)National Wildlife Research Center, USDA、4)自然環境研究センター、5)琉球大、6)森林総合研究所)、「スunksにおけるキャラバン行動終期の検討」上田孝昇氏・吉岡歌穂・織田銃一先生(岡山理科大・理学部動物学科)、「ペットボトル症

候群モデルとしてのスunksの可能性」品川文音氏・沖田大輝・前 裕美・織田銃一先生（岡山理科大学・理学部・動物学科）、「マウス卵巣顆粒膜細胞におけるインスリン様成長因子 I 遺伝子の発現」林 紗代氏・小島史也・御輿真穂・竹内 栄・高橋純夫各先生（岡山大・大学院自然科学研究科）、記念講演(1題)「抗体の分子進化(親和性成熟)の研究:面白い結果は思いがけなく訪れる!」大森 斉先生(岡山大・大学院自然科学研究科)、交流会。同日、同会場で13:00~17:40まで公開シンポジウム「The Frontier of the Reproductive Biology ~生殖生命科学研究の最前線~」(主催:若手研究者の研究能力向上を実現する生殖生命科学に関する国際共同研究プログラム実施委員会)と共催した。

第69回例会 平成27年6月26日(金)13:30~ 川崎医科大学・現代医学教育博物館2階大講堂 世話役 大熊誠太郎先生・三上崇徳氏(川崎医科大学)、一般講演(4題)「似て非なるC57BL/6 マウス」目加田和之先生(岡山理科大学理学部動物学科)、「ヌートリア Myocastor coypus を用いた試験と実験」小林秀司先生・新居康平・柳原綾佳・生野あゆみ・清水慶子先生(岡山理科大学理学部動物学科)、「蝸牛外ラセン溝周辺におけるミオイノシトール輸送体タンパク質の発現」山地真裕美氏1,井上理佐1,枝松 緑2,安藤元紀先生1(1岡山大学大学院教育学研究科・細胞生理学研究室2岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・分子医化学分野)、「e-learning システムを用いた動物実験教育訓練知識確認テストの実施」矢田範夫氏・上藤千佳・平山晴子・樫木勝巳各先生(岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門,岡山大学動物実験委員会)、特別企画「動物実験と社会—適切な動物実験の実施体制を考える—」「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針について」勝股靖貴氏(文部科学省研究振興局ライフサイエンス課)、「動物実験を実施している研究機関等の責務について」喜多正和先生(公私立実験動物施設協議会会長・京都府立医科大学)、「岡山大学における動物実験に関わる機関管理体制の構築—非医療系キャンパスでの機関管理拠点として動物実験施設の整備コンセプトとその運用—」樫木勝巳先生(岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門)、懇親会。

第70回例会 平成27年12月11日(金)10:00~12:00 加計学園50周年記念館ホール(岡山理科大学) 世話役 愛甲博美先生・目加田和之先生・城ヶ原貴通先生(岡山理科大学理学部動

物学科) 特別講演(1題)「マウス卵子におけるミトコンドリアの特性」若井拓哉先生(岡山大学・大学院環境生命科学研究所・動物生殖細胞工学研究室)、一般講演(5題)「実験動物スunksにおける新規コロナウイルスの探索」寺田豊氏1,2,下田 宙1,Nguyen Van Dung1, 城ヶ原貴通3,織田銃一各先生3,高野 愛1,本道栄一4,前田 健1(1山口大学・獣医微生物、2(独)日本学術振興会特別研究員PD、3岡山理科大学・動物、4名古屋大学・動物形態情報学)、「スunksを用いた脳下垂体神経葉ホルモン・受容体系の解析」佐藤慧太・坂本浩隆先生(岡山大学大学院自然科学研究科・理学部附属臨海実験所)、「スunksで作るモノクローナル抗体」佐渡義一先生(重井医学研究所免疫部門)、「スunks骨格筋線維の生化学的特徴」市川宏仁氏1・松尾大輝1・宮田浩文2・和田直己1(山口大学連合獣医研究科1・山口大学農学部1)、「スunksの腹腔内における画像解析により得られた知見」伊藤聡史氏・富山友里奈・木村 透先生(山口大学共同獣医学部病態制御学講座実験動物学)、懇親会。同日、同会場で13:00~17:40まで第4回実験動物科学シンポジウム「新たな疾患モデル動物が切り開く橋渡し研究」を(公社)日本実験動物学会と主催した。

第71回例会 平成28年6月25日(土)13:30~ 就実大学図書館5階AVホール 世話役:工藤季之先生・古林呂之先生(就実大学薬学部) 一般講演(5題)「ラット脳下垂体隆起部の新規生理機能の探索 相澤清香先生1,坂井田初季2,坂田一郎2,坂井貴文2,御輿真穂1,竹内 栄1,高橋純夫各先生1(1岡山大学大学院自然科学研究科生物科学専攻,2埼玉大学大学院理工学研究科生命科学系専攻)、「マウス子宮内膜におけるTGF- β 遺伝子の発現制御」吉田すみれ氏,相澤清香,御輿真穂,竹内 栄,高橋純夫各先生(岡山大学大学院自然科学研究科)、「カフェインによる鼻炎抑制作用について」辻本まどか氏1,佐伯綾希子1,城山明花1,春名香里1,秀浦麻友1,北村弥生1,杉本幸雄2,白神俊幸1,林 泰資各先生1(1ノートルダム清心女子大学・人間生活学部・食品栄養学科2岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(薬学系))、「ウシ精巣からの精原幹細胞採取の試み」永原知樹氏,若井拓哉,舟橋弘晃各先生(岡山大学大学院環境生命科学研究所)、「ブタ卵母細胞中のミトコンドリア細胞内分布の変化」葛原大貴氏,若井拓哉,舟橋弘晃各先生(岡山大学大学院環境生命科学研究所)、特別講演(2題)「ラットを用いた薬物の経鼻吸収実

験と吸収動態解析」古林呂之先生(就実大学薬学部・薬物動態学研究室)、「ニワトリの食欲調節機構に関するこれまでの研究と今後の展望」本田和久先生(神戸大学大学院農学研究科)、懇親会。

第72回例会 平成28年12月9日(金)13:30～ 加計学園・創立50周年記念館ホール(4階) 世話役 愛甲博美先生・目加田和之先生(岡山理科大学・理学部) 特別講演(2題)「腸内フローラ研究におけるノトバイオ技術の貢献と進展」森田英利先生(岡山大学大学院環境生命科学研究科・動物応用微生物学)、「遺伝子改変マウスを利用した生体内間葉系幹細胞の階層性の理解」宝田剛志先生(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・組織機能修復学分野)、記念講演(1題)「ミュータント系実験動物育種と野生動物の実験動物化」織田銑一先生(元岡山実験動物研究会会長・元岡山理科大学教授)、懇親会。

第73回例会 平成29年7月7日(金)13:30～ 岡山大学農学部第3講義室(1号館、1階) 世話役 松山 誠先生(重井医学研究所)、連絡先 国枝哲夫・佐藤勝紀(岡山大学農学部)、一般講演(6題)「コーヒー香気の抗鼻炎作用と豆の種類による作用の差異」辻本まどか氏、林泰資先生(ノートルダム清心女子大学大学院・人間生活学研究科・食品栄養学)、「マクロファージが分泌する細胞外小胞は乳酸菌の抗肥満効果を媒介する」1伊藤洋平氏、1鶴田剛司、1西野直樹各先生、1Terry Muhomah、2園山 慶(1岡山大院・環境生命科学科、2北海道大学院農学研究院)、「ニワトリにおける遅羽性K遺伝子の作用メカニズムの解析」岡村彩子氏 1・増本絢音 1・竹之内 惇 3・相澤清香先生 1, 2・御輿真穂 1, 2・高橋純夫 1, 2・都築政起 3・竹内 栄各先生 1, 2 (1岡山大・理・生物・2岡山大・院・自然科学・3広島大・院・生物圏科学)、「受精後のDNAメチル化リプログラミングにおける種間差異」澤田友季乃氏、舟橋弘晃、若井拓哉各先生(岡山大学大学院環境生命科学研究科動物生殖細胞工学)、「ラット隆起部におけるニューロメジンUの発現とその制御メカニズム」相澤清香先生、顧婷婷、神之田有紗、藤岡竜矢、御輿真穂、竹内 栄、高橋純夫各先生(岡山大学大学院自然科学研究科生物科学専攻)、「細胞周期と細胞極性のクロストークー分裂酵母を用いた基礎研究から腎障害モデルマウスを用いた医学研究までー 古家野孝行先生 1)重井医学研究所、分子遺伝部門、2)The Francis Crick Institute, Cell Regulation Laboratory)、特別講演(1題)「冬

眠する哺乳類シリアンハムスターに学ぶ、冬眠可能な生体状態とは? 山口良文先生(東京大学大学院薬学系研究科遺伝学教室)、懇親会。

第74回例会 平成29年11月17日(金)13:30～ 加計学園・50周年記念館ホール(4階) 世話役 愛甲博美先生・目加田和之先生(岡山理科大学理学部)、特別講演(1題)「ニワトリコクシジウム症: アイメリア・テネラ感染メカニズムの解明に向けて」畑生俊光先生(岡山大学大学院環境生命科学研究科・動物生理学)、記念講演(2題)「マウス視床下部・下垂体・生殖腺系における転写因子Runx3の役割」高橋純夫先生(岡山大学大学院自然科学研究科・生体統御学)、「生体内水銀の体外排泄に関する研究」愛甲博美先生(岡山理科大学理学部動物学科)、懇親会。

記念講演

- 実験動物と私達 矢部芳郎教授(岡山大・医学部) 第26回研究会 平成5年12月17日
- 動物としての細胞 田坂賢二教授(岡山大・薬学部) 第26回研究会 平成5年12月17日
- ライフサイエンスの展開と実験動物 猪 貴義先生(岡山大学名誉教授・日本実験動物協会副会長) 第34回研究会(創立15周年記念大会) 平成9年11月28日
- 内分泌攪乱物質(環境ホルモン)の何が問題か 井口泰泉先生(横浜市立大学・理学部、現岡崎国立共同) 第36回研究会 平成10年11月27日
- 最近の家畜ゲノム解析ーブタ MHC クラスII 遺伝子と牛 Mx タンパク質遺伝子 小松正憲先生(農林水産省中国農業試験場畜産部・育種繁殖研究室) 第38回研究会 平成11年11月24日
- 実験動物研究の50年を顧みて 猪 貴義先生(岡山大学名誉教授、本会名誉会員) 第40回研究会 平成12年12月8日
- 実験動物科学の目覚ましい進歩発展を顧みて、見逃されている大切な問題を考える 今道友則先生((財)動物繁殖研究所名誉理事長・日本獣医畜産大学名誉教授・日本動物看護学会会長) 第44回研究会 平成14年11月29日
- 犬の来た道 田名部雄一先生(岐阜大学名誉教授) 第48回研究会 平成16年11月26日
- 実験小動物における全身麻酔 倉林 譲先生(岡山大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門) 第50回研究会 平成17年12月2日

- 食物繊維の機能とエネルギー値 中永征太郎先生(ノートルダム清心女子大) 第 52 回研究会 平成 18 年 12 月 8 日
- 岡山大学農学部家畜育種学教室におけるマウスとウズラの研究紹介 佐藤勝紀(岡山大大学院・自然科学研究科) 第 56 回研究会 平成 20 年 11 月 21 日
- 花粉症と抗アレルギー薬の話 亀井千晃先生(岡山大大学院・医歯薬学総合研究科) 第 58 回研究会 平成 21 年 11 月 27 日
- 安全の科学とリスクコミュニケーション 唐木英明先生(倉敷芸術科学大学・学長) 第 64 回研究会 平成 24 年 11 月 30 日
- 抗体の分子進化(親和性成熟)の研究:面白い結果は思いがけなく訪れる! 大森 斉先生(岡山大・大学院自然科学研究科) 第 68 回研究会 平成 26 年 11 月 28 日
- ミュータント系実験動物育種と野生動物の実験動物化 織田銃一先生(元岡山実験動物研究会会長・元岡山理科大学教授) 第 72 回例会 平成 28 年 12 月 9 日
- マウス視床下部・下垂体・生殖腺系における転写因子 Runx3 の役割 高橋純夫先生(岡山大学大学院自然科学研究科・生体統御学・教授) 第 74 回例会 平成 29 年 11 月 17 日
- 生体内水銀の体外排泄に関する研究 愛甲博美先生(岡山理科大学理学部動物学科・教授) 第 74 回例会 平成 29 年 11 月 17 日

招待講演

- モンゴル・ゴビ砂漠における恐竜調査 石井健一教授(近畿大・榊林原自然科学博物館準備室長) 第 26 回研究会 平成 5 年 12 月 17 日
- ケージサイズについて考える 佐藤徳光先生(新潟大・医学部・附属動物実験施設) 第 28 回研究会 平成 6 年 12 月 2 日
- サル ES 細胞樹立と再生医療研究への応用 鳥居隆三先生(滋賀医科大・動物生命科学研究所) 第 46 回研究会 平成 15 年 11 月 28 日
- 野生由来マウス系統の遺伝的多様性を利用した行動の遺伝学的解析 小出 剛先生(国立遺伝学研究所・マウス開発研究室) 第 49 回研究会 平成 17 年 6 月 24 日
- DNA 診断で偽装表示と美味しい牛肉を見抜く 万年英之先生(神戸大大学院・自然科学研究科資源生命科学専攻) 第 50 回研究会 平成 17 年 12 月 2 日
- 実験用ラット研究の進展 芹川忠夫先生(京都大大学院・医学研究科附属動物実験施設・教授) 第 64 回研究

会 平成 24 年 11 月 30 日

特別講演

- 実験動物における発生のひずみの技法別研究法 永井 廣教授(岡山大歯学部) 第 1 回研究会 昭和 57 年 12 月 7 日
- 哺乳動物による変異原性試験 土川 清先生(国立遺伝研究所、静岡実験動物研究会会長) 第 2 回研究会 昭和 58 年 4 月 30 日
- 実験動物研究における最近の話題 猪 貴義先生(岡山大農学部) 第 2 回研究会 昭和 58 年 4 月 30 日
- 哺乳類発生学の基礎と応用 舘 鄰先生(東大・理学部)、第 3 回研究会 昭和 58 年 9 月 30 日
- 林原生物化学研究所の概要 栗本雅司先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所長) 第 4 回研究会 昭和 58 年 12 月 3 日
- 実験動物の開発—特にその遺伝学的手法について 永井次郎先生(カナダ農商務省研究所・部長) 第 4 回研究会 昭和 58 年 12 月 3 日
- 先天異常に関する動物データの解釈—とくにヒトへの外挿 西村秀雄先生(京都大学名誉教授) 第 5 回研究会 昭和 59 年 5 月 19 日
- Genetic engineering in Destiny Harold M. Slavkin 教授(南カリフォルニア大学) 第 5 回研究会 昭和 59 年 5 月 19 日
- 動物実験と私 小川勝士教授(岡山大・医学部・病理学教室)、第 6 回研究会 昭和 59 年 12 月 8 日
- New inbred and congenic strains mice developed for biomedical research in Poland Dr. Alina Crarnomska(ポーランド・ワルシャワ癌研究所) 臨時特別講演会 昭和 60 年 11 月 5 日
- 実験動物との付き合い 妹尾左知丸先生(重井医学研究所所長) 第 11 回研究会 昭和 61 年 9 月 13 日
- 原爆放射線がもたらした災害—レントゲンからチェルノブイリまで 阿波章夫先生(広島放射線影響研究所・遺伝学部長) 第 11 回研究会 昭和 61 年 9 月 13 日
- 実験動物における Genetic Monitoring の意義と役割 山田淳三教授(京都大・医学部) 第 12 回研究会 昭和 61 年 12 月 6 日
- 動物の行動に関する記憶の機制 平野俊二先生(京都大・文学部) 第 15 回研究会 昭和 62 年 12 月 5 日

- 哺乳類中枢神経系の発生と分化 御子柴克彦先生(大阪大・蛋白質研究所) 第15回研究会 昭和62年12月5日
- 実験動物における発生工学の進歩 豊田裕先生(東京大・医科学研究所)、第15回研究会 昭和62年12月5日
- 動物実験に影響する諸要因とその制御 後藤信男教授(神戸大農学部) 第16回研究会 昭和63年5月28日
- 咀嚼システムにおける感覚入力の影響 窪田全次郎先生(東京医科歯科大学名誉教授) 第17回研究会 昭和63年12月10日
- Basic research in teratology Dr.G.H. Schumacher (Rostock University, Professor) 第17回研究会 昭和63年12月10日
- 実験動物としてみた節足動物 山口恒夫教授(岡山大・理学部) 第18回研究会 平成元年12月2日
- 実験動物としてのショウジョウバエ 浅田伸彦先生(岡山理科大・理学部) 第18回研究会 平成元年12月2日
- バイオテクノロジーの応用による新しい実験動物の開発 東條英昭先生(富山医科薬科大)、第18回研究会 平成元年12月2日
- 動物実験における腎症候性出血熱の発生と終息 山之内孝尚先生(元大阪大・微生物研究所 教授) 第20回研究会 平成2年12月1日
- 神経細胞の雑種形成 石井一宏先生(京大・ウイルス研究所) 第20回研究会 平成2年12月1日
- アセチルコリンおよびヒスタミン吸入に対する気道感受性を異にするモルモット2系統の選抜育種 三上博輝先生(日本臓器株・生物活性科学研究所) 第20回研究会 平成2年12月1日
- 癌と動物 栗本雅司先生(梶原生物化学研究所・藤崎研究所)、第21回研究会 平成3年7月12日
- 岡山の自然と生物 三枝誠行先生(岡山大・教養部)、第21回研究会 平成3年7月12日
- 動物の子育てについて 福本幸夫先生(広島市安佐動物公園)、第22回研究会 平成3年11月30日
- 今注目をあびている実験動物“スunks”について 松本則夫先生(東京大・薬学部)、第22回研究会 平成3年11月30日
- ヒト疾患モデル動物の開発 猪 貴義教授(岡山大・農学部)、第22回研究会 平成3年11月30日
- 哺乳動物初期胚の凍結保存と体外受精 野上興志郎先生(岡山県総合畜産センター・専門研究員) 第22回研究会 平成4年6月20日
- 薬効開発と疾患モデル動物 新井成之先生(梶原生物化学研究所・藤崎研究所) 第22回研究会 平成4年6月20日
- 医学・生物学における先端技術としての放射線利用 大原 弘教授(岡山大・教養部) 第24回研究会 平成4年12月4日
- がんと免疫 中山睿一教授(岡山大・医学部)、第24回研究会 平成4年12月4日
- 環境の発がん物質に対するヒト曝露の研究 方法 早津彦哉教授(岡山大・薬学部) 第24回研究会 平成4年12月4日
- 動物におけるシートからの形づくり 本多久夫先生(新技術事業団・古里再生機構プロジェクト) 第25回研究会 平成5年6月18日
- 内分泌細胞における細胞増殖の調節 高橋純夫先生(岡山大・理学部) 第27回研究会 平成6年6月25日
- 実験動物とワクチンの品質管理 小野耕一先生((財)阪大微生物研究会) 第28回研究会 平成6年12月2日
- 遺伝子ノックアウトマウス作製と免疫応答解析への応用 高井俊行先生(岡山大・工学部) 第28回研究会 平成6年12月2日
- 抗がん剤誘発脱毛モデル動物の作成と脱毛抑制剤 高畑京也先生(岡山大・農学部) 第29回研究会 平成7年7月1日
- 家庭を取り巻く害虫 三宅 忠氏(岡山ペストコントロール協会) 第30回研究会 平成7年12月1日
- ゴキブリよもやま話 西村 昭先生(アース製薬株・研究顧問)、第30回研究会 平成7年12月1日
- 動物睡眠—防衛行動としての死んだふり 酒井正樹先生(岡山大・理学部)、第30回研究会 平成7年12月1日
- 細胞ガン化の機構 清水憲二教授(岡山大・医学部) 第30回研究会 平成7年12月1日
- 広島大学医学部附属動物実験施設の紹介と実験動物の眼検査について 古川敏紀先生(広島大・医学部・附属動物実験施設) 第31回研究会 平成8年6月29日
- 大型ウサギの実験動物化に関する研究 松田幸久先生(秋田大・医学部・附属動物実験施設) 第32回研究会 平成8年11月29日
- コラーゲン遺伝子改変と動物疾患モデル

- 二宮義文教授(岡山大・医学部) 第32回研究会 平成8年11月29日
- マスト細胞分化異常動物」北村幸彦教授(大阪大・医学部) 第32回研究会 平成8年11月29日
 - Recent cytogenetic investigation in livestock in Europe—an overall view
Dr. Gerald Stranzinger (Swiss Federal Institute of Technology, Professor) 特別講演会 平成9年3月6日
 - ヒト Wilson 病モデル、肝癌モデル、免疫不全モデルとしての LEC ラット 松本耕三先生(徳島大・医学部・附属動物実験施設) 第33回研究会 平成9年7月12日
 - 疾患モデル動物の開発とその応用 菊池建機先生(国立精神・神経センター・モデル動物開発部・部長) 第34回研究会(創立15周年記念大会) 平成9年11月28日
 - 癌の遺伝子治療 田中紀章教授(岡山大・医学部・第一外科) 第34回研究会(創立15周年記念大会) 平成9年11月28日
 - 薬物依存形成における diazepam binding inhibitor (DBI) の役割 大熊誠太郎・桂昌司各先生(川崎医科大・薬理学教室) 第35回研究会 平成10年7月18日
 - 両生類の経皮的水分摂取機構と陸上適応 上島孝久先生(岡山大・教育学部) 第36回研究会 平成10年11月27日
 - 骨粗鬆症疾患モデルとその評価について 西崎泰司先生(林原生物化学研究所・藤崎研究所) 第36回研究会 平成10年11月27日
 - 上海実験動物科学の進展 王楠田先生(上海実験動物科学専門委員会会長) 第37回研究会 平成11年5月26日
 - 国内初の生体部分肝移植について 清水信義先生(岡山大・医学部・第2外科) 第37回研究会 平成11年5月26日
 - Tg動物飼育システム STAR 及び STAR/OK の紹介 柳原茂氏(東洋熱工業株) 第38回研究会 平成11年11月24日
 - モンゴル恐竜共同調査 6年間の歩み 鈴木茂先生(林原自然科学館) 第38回研究会 平成11年11月24日
 - 医薬品開発サポート業の現状 金田平八郎氏(株)ラビトン研究所、大阪医薬品臨床開発研究所) 第39回研究会 平成12年7月8日
 - 機能性食品業界の最近の動向 井上良計先生(備前化成株・研究開発部) 第40回研究会 平成12年12月8日
 - 無視できない線虫の話 香川弘昭先生(岡山大学大学院・自然科学研究科・理学部)、第40回研究会 平成12年12月8日
 - 多因子疾患原因遺伝子 Positional Cloning への取り組み—肥満・高脂血症・高血糖を支配する遺伝子の解明—渡邊武先生(大塚製薬(株)大塚 GEN 研究所) 第41回研究会 平成13年6月22日
 - 細胞死(アポトーシス)のシグナル伝達機構と生体における役割 酒巻和弘先生(京都市大・大学院生命科学研究科) 第42回研究会 平成13年11月30日
 - がんと免疫 中山睿一先生(岡山大大学院・歯学総合研究科・免疫学) 第42回研究会 平成13年11月30日
 - 今日の生殖医療の現状と問題点 沖津 撰・三宅 馨各先生(三宅医院 IVF センター) 第43回研究会 平成14年6月7日
 - 脳と知覚学習—環境心理学の再出発— 三谷惠一先生(岡山大・文学部・行動科学科心理学教室) 第44回研究会 平成14年11月29日
 - カメムシの飼育と応用に関する最近の話題 安永智秀先生(岡山大・教育学部・動物学研究室) 第45回研究会 平成15年6月13日
 - クラレにおける化学物質の有害性評価への取り組み 嶋村三智也氏(株)クラレ・構造物性研究所) 第46回研究会 平成15年11月28日
 - In vitro と In vivo のはざままで 沖垣 達先生(重井医学研究所名誉所長・本会理事) 第47回研究会 平成16年6月25日
 - 軟骨形成不全症モデル動物を用いた長管骨成長を制御する遺伝子の解析 辻 岳人先生・国枝哲夫先生(岡山大大学院・自然科学研究科) 第48回研究会 平成16年11月26日
 - 動物園と動物たち、そして人 赤迫良一氏(株)池田動物園) 第49回研究会 平成17年6月24日
 - 実験動物としての盲腸摘出ラットの評価 坂口 英先生(岡山大大学院・自然科学研究科(農学系)) 第51回研究会 平成18年6月23日
 - 実験動物としてのショウジョウバエ 百田龍輔先生(岡山大大学院・歯学総合研究科・人体構成学) 第52回研究会 平成18年12月8日
 - 黒色鶏やカラスはなぜ黒い? ~下垂体中葉を欠く鳥類に体色制御の α -MSH 調節系は存在するか~」竹内 栄先生(岡山大・大学院自然科学研究科・理学部) 第52回研究会 平成

- 18年12月8日
- 倫理的動物実験の実践へ向けて～動物実験関係者の社会的責任を明確に、具体的に～」北 徳先生(倉敷芸術科学大・生命動物科学科非常勤・元川崎医科大・医用生物センター) 第53回研究会 平成19年6月22日
 - コオロギを実験動物とした生物時計の解析：時計遺伝子 *period* のリズム発現機構における機能解析」富岡憲治先生(岡山大大学院・自然科学研究科・バイオサイエンス専攻) 第54回研究会 平成19年12月8日
 - 性決定機構・性判別の研究から出発して～マウス、トゲネズミ、ウシ等に関するトピックス～ 須藤鎮世先生(就実大薬学部・遺伝子解析学) 第54回研究会 平成19年12月8日
 - 糖尿病性壊疽に対するマゴットセラピーの可能性 三井秀也先生(岡山大大学院・医歯薬学総合研究科・心臓外科 講師) 第54回研究会 平成19年12月8日
 - 視覚の遺伝学 佐藤忠文先生(環太平洋大・次世代教育学部) 第55回研究会 平成20年6月27日
 - 休耕田を利用したアユモドキの保全活動 青 雅一先生(NPO 法人岡山淡水魚研究会) 第55回研究会 平成20年6月27日
 - 瀬戸町におけるアユモドキの生態調査 阿部 司氏(岡山大大学院・自然科学研究科 学振特別研究員) 第55回研究会 平成20年6月27日
 - 岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門鹿田施設の管理・運営の実際—動物実験施設の管理・運営改革2年間を振り返って 樺木勝巳(岡山大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門) 第56回研究会 平成20年11月21日
 - マメジカの生理学的特性 福田勝洋先生(岡山理科大・理学部) 第56回研究会 平成20年11月21日
 - 線虫 *C. elegans* の遺伝子と遺伝子の虫 香川弘昭先生(岡山大学名誉教授・理学部) 第57回研究会 平成21年7月10日
 - DNA 検査の利用と事例紹介 米田一裕氏(有米田遺伝子型研究所) 第58回研究会 平成21年11月27日
 - 日本鶏における形態的および遺伝的多様性ならびにその利用」都築政起先生(広島大大学院・生物圏科学研究科・家畜育種遺伝学研究室) 第58回研究会 平成21年11月27日
 - スナクス(ジャコウネズミ)の実験動物化とその特性—とくに低温不耐性について— 織田銑一先生(岡山理科大・理学部動物学科) 第59回研究会 平成22年7月2日
 - 川崎医科大学医用生物センターにおける管理運営の現状～微生物制御、衛生管理を中心として～ 井上真理子氏(川崎医科大・医用生物センター) 第59回研究会 平成22年7月2日
 - 両生類のように人間は再生できるようになるのか? 佐藤 伸先生(岡山大・異分野融合先端研究コア RCIS) 第59回研究会 平成22年7月2日
 - 実験動物としてのウズラの有用性 高橋慎司・清水 明・川嶋貴治各先生(国立環境研究所・環境研究基盤技術ラボラトリー生物資源研究室) 第60回研究会 平成22年11月27日
 - 岡山理科大学理学部動物学科における動物資源 城ヶ原貴通先生(岡山理科大理学部・動物学科) 第60回研究会 平成22年11月27日
 - 社会性昆虫における繁殖システムと役割分業の制御機構 松浦健二先生(岡山大大学院・環境学研究科・昆虫生態学研究室・農学部) 第60回研究会 平成22年11月27日
 - (社)日動協の実験動物技術者認定制度の概要と今後の展望 大和田一雄先生((社)日動協・認定専門委員会委員長、山形大医学部、(独)産業技術総合研究所研究環境安全本部) 第61回研究会 平成23年7月1日
 - ナメクジウオ奮闘記—頭索動物ナメクジウオの飼育と研究— 安井金也先生(広島大大学院・理学研究科・生物科学専攻) 第61回研究会 平成23年7月1日
 - 植物培養細胞を活用して基礎研究と産学連携研究を追求して 濱田博喜先生(岡山理科大・理学部臨床生命科学科・教授) 第62回研究会 平成23年11月25日
 - 実験動物と動物実験について今思うこと 西川 哲氏((独)放射線医学総合研究所・研究基盤センター) 第62回研究会 平成23年11月25日
 - 脊髄を介するグレリンの大腸運動促進作用」平山晴子先生(岡山大・自然生命科学研究支援センター動物資源部門) 第63回研究会 平成24年6月29日
 - 物質輸送における細胞間連携の重要性:心臓組織および内耳血管条組織を例として 安藤元紀先生(岡山大大学院・教育学研究科) 第63回研究会 平成24年6月29日
 - 岡山実験動物研究会30年のあゆみ 佐藤勝紀(岡山大学・農学部・本会名誉会員) 第

- 64回研究会（創立30周年記念大会）平成24年11月30日
- マウス初期胚発生と精子形成過程におけるオートファジー（自食作用）の役割 塚本智史氏（放射線医学総合研究所・生物研究推進課）第65回例会 平成25年7月12日
 - 筋ジストロフィーニワトリの水分子代謝異常 齋藤昇先生（岡山大学大学院環境生命科学研究科・動物生理学）第66回例会 平成25年12月13日
 - 実験動物を用いた酢酸の肥満抑制効果の評価 山下広美先生（岡山県立大学・保健福祉学部・研究科）第66回例会 平成25年12月13日
 - Hox 遺伝子と聴覚回路の発生 成田裕一先生（名古屋文理大学・健康生活学部・フードビジネス学科）第66回例会 平成25年12月13日
 - 動物実験福祉 一主観で語る覚悟を一 北徳先生（倉敷芸術科学大学・生命動物科学科）第66回例会 平成25年12月13日
 - 鳥類の性決定とアロマターゼ遺伝子 工藤季之先生（就実大・薬学部・薬学科）第67回例会 平成26年7月11日
 - 遺伝子改変マウスを用いた基礎医学研究」松山誠先生（重井医学研究所・分子遺伝部門）第67回例会 平成26年7月11日
 - マウス卵子におけるミトコンドリアの特性 若井拓哉先生（岡山大学・大学院環境生命科学研究科・動物生殖細胞工学研究室）第70回例会 平成27年12月11日
 - ラットを用いた薬物の経鼻吸収実験と吸収動態解析 古林呂之先生（就実大学薬学部・薬物動態学研究室）第71回例会 平成28年6月25日
 - ニワトリの食欲調節機構に関するこれまでの研究と今後の展望 本田和久先生（神戸大学大学院農学研究科）第71回例会 平成28年6月25日
 - 腸内フローラ研究におけるノトバイオオート技術の貢献と進展 森田英利先生（岡山大学大学院環境生命科学研究科・動物応用微生物学）第72回例会 平成28年12月9日
 - 遺伝子改変マウスを利用した生体内間葉系幹細胞の階層性の理解 宝田剛志先生（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・組織機能修復学分野）第72回例会 平成28年12月9日
 - 冬眠する哺乳類シリアンハムスターに学ぶ、冬眠可能な生体状態とは？ 山口良文先生（東京大学 大学院薬学系研究科 遺伝学教

室）（現在：北海道大学低温科学研究所・生物環境部門・冬眠代謝生理発達分野）第73回例会 平成29年7月7日

- ニワトリコクシジウム症：アイメリア・テネラ感染メカニズムの解明に向けて 畑生俊光先生（岡山大学大学院環境生命科学研究科・動物生理学）第74回例会 平成29年11月17日

話題提供・賛助会員による講演

- 最近の実験動物の開発と設備、施設に関する話題「MCH動物の開発」 田中福志氏（日本クレア）・齋藤宗雄・吉村幸夫各先生（実中研）「バイオハザード対策の設備及び施設計画」 掘田勝氏（日本クレア）第11回研究会 昭和61年9月13日
- Tg動物飼育用ラック「ルフテンTg」の開発」 齋藤正信¹・大城匡豊¹・銀一之²・橋詰俊雄²各氏・倉林譲先生³（1 大気社、2 白銀工業(株)、3 岡山大医学部・附属動物実験施設）第37回研究会 平成11年5月26日
- Tg動物飼育システムSTAR及びSTAR/OKの紹介 柳原茂氏（東洋熱工業(株)）第38回研究会 平成11年11月24日
- 医薬品開発サポート業の現状 金田平八郎氏（(株)ラビトン研究所、大阪医薬品臨床開発研究所）第39回研究会 平成12年7月8日
- これからの動物実験施設を考える 夏目克彦氏（(株)夏目制作所）第41回研究会 平成13年6月22日
- 弊社業務内容案内 菅野史朗氏（ハムリー(株)）、第42回研究会 平成13年11月30日
- 株式会社ナルクのビーグル生産事業・実験動物受託飼育事業の概要 橋本匡司¹・桜田新一¹・大岩一雄¹・丸山みゆき¹・佐藤尚行²・山崎章弘²・大島誠之助¹各氏（¹ナルク、²日本農産工業(株)）、第43回研究会 平成14年6月7日
- 有限会社山本理化の事業概要 山本義明氏（(有)山本理化）第44回研究会 平成14年11月29日
- 弱酸性次亜塩素水を用いた動物実験施設での衛生管理の可能性 ホルマリン燻蒸に替わる新たな消毒資材としての活用 飼育汚物排水の消毒処理への応用の可能性 山下光治先生（(株)エイチ・エス・ピー）第44回研究会 平成14年11月29日
- 動物実験製品紹介ー医療機器メーカーからの視点からー」 平林白一・鴻池将義各氏（泉工医科工業(株)）第45回研究会 平成15年6月13日

- 実験マウス(ラット局所)用エックス線骨密度/体脂肪測定装置 PIXImus2(ピクシマウス) 小西雅久¹・細井 實²各氏 (¹GE 横河メディカルシステム㈱、²㈱メディケア) 第46回研究会 平成15年11月28日
- 殺菌と洗浄について 古本尚希氏(乾商事 ㈱・医療Iグループ) 第47回研究会 平成16年6月25日
- 小動物用吸入麻酔装置の開発 井上政昭氏(㈱スカイネット) 51回研究会 平成18年6月23日
- マイナスイオンの効能効果とマイナスイオン発生器(オーリラ)の開発と試験について 長澤 通氏(㈱GSD代表取締役) 第60回研究会 平成22年11月27日
- 最新の実験動物用マイクロ X 線 CT 装置～R_mCT2 製品紹介 濱中 功¹・細井 實²各氏 (¹㈱リガク NDT イメージング事業部、²㈱メディケア・代表取締役) 第61回研究会 平成23年7月1日
- 動物実験施設等における脱臭・除菌を目的とした光触媒技術の応用 高岡 秀氏(昭和セラミックス(株)) 第62回研究会 平成23年11月25日

教育講演

- ナノテクノロジー材料の安全性問題を認識するために(調査報告) 嶋村三智也氏(㈱クラレ・くらしき研究所・構造解析グループ) 第53回研究会 平成19年6月22日(金)

フォーラム

「生物のかたち作りの謎をとくー発生工学への道」 記念講演 Nicole M. LeDouarin(ニコル・M・ルドワラン)教授：フランス科学振興発生物学研究所所長 賛助講演「細胞をよりわかる分子と動物のかたち作り」 竹市俊雅教授(京都大・理学部) 第13回研究会 昭和62年3月30日

交展会

テーマ1

「動物実験施設中央化の得失」

テーマ2

「動物実験における研究者と技術者の役割分担」 第8回研究会 昭和60年9月28日

シンポジウム

「実験動物の飼育・手技・管理・購入における問題点」(6題)：第6回研究会 昭和59年12月8日

- 新薬開発における動物実験の問題点 亀井

千晃先生(岡山大・薬学部)

- 中央動物実験施設運営における人間の意識調査の問題について 北 徳先生(川崎医大・実験動物飼育センター)
- 岡大医学部附属動物実験施設における管理運営上の問題点とその対策について 倉林讓先生(岡山大・医学部・動物実験施設)
- ハムスター新生児の胸腺摘出と問題点 元田龍一先生(㈱林原生物化学研究所)
- 重井医学研究所動物実験室の現状と問題点 内藤一郎先生(重井医学研究所)
- 岡山大学農学部における実験動物の飼育管理の問題点 佐藤勝紀(岡山大・農学部) 「動物の集団をどのようにとらえるか」(3題)：第10回研究会 昭和61年5月10日
- 昆虫の集団 吉田敏治先生(岡山大・農学部)
- 動物集団の行動についての一解析 渡辺宗孝先生(岡山大・教養部)
- 実験動物における社会構造と密度効果 河本泰生先生(岡山大・農学部) 「アユモドキ・・・絶滅させてはならない郷土の宝物」(4題)：第55回研究会 平成20年6月27日
企画・司会 青 雅司先生(国立病院機構岩国医療センター部長・NPO 法人岡山淡水魚研究会理事長)
- 瀬戸町におけるアユモドキ産卵場所の発見まで 小林一郎氏(NPO 法人岡山淡水魚研究会 理事)
- 岡山市の天然記念物アユモドキの保護・保全啓発の取組 岡本芳明氏(岡山市教育委員会 文化財課)
- アユモドキ生息のための障害 阿部 司氏(岡山大大学院・自然科学研究科 学振特別研究員)
- その他の取り組みと後継者育成 青 雅一先生(NPO 法人岡山淡水魚研究会 理事長)

公開シンポジウム

- The Frontier of the Reproductive Biology ～生殖生命科学研究の最前線～
日本学術振興会『頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム』主催：若手研究者の研究能力向上を実現する生殖生命科学に関する国際共同研究プログラム実施委員会 共催：岡山実験動物研究会・岡山大学生殖補助医療技術教育研究センター・岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門津島南施設 平成26年11月28日(13:00～17:40) 第68回例会と同日開催

講演 1 Multiple Roles of Fkbp6 (FK506 binding protein 6) in Spermatogenesis ～精子形成において複数の役割を持つ遺伝子 Fkbp6～ 野口純子氏 (農業生物資源研究所)

講演 2 Recent Advancements in Nuclear Transfer

Cloning in Mice ～マウス核移植クローン技術の最新事情～ 小倉淳郎氏 (理研バイオリソースセンター)

講演 3 Live Imaging-Based Investigation of Mouse Spermatogenic Stem Cell Dynamics ～ライブイメージングを基盤としたマウス精子幹細胞ダイナミクスの解明～ 吉田松生氏 (基礎生物学研究所)

招待講演 New Insights Into Reproduction from Unbiased Mutagenesis ～突然変異マウスが教えてくれた生殖生物学の新境地～ Mary Ann Handel (The Jackson Laboratory)
プログラム成果報告 国枝哲夫氏 (岡山大学)、藤原靖浩氏 (The Jackson Laboratory)

第4回実験動物科学シンポジウム

新たな疾患モデル動物が切り開く橋渡し研究 (公社)日本実験動物学会と主催 第70回例会と同日開催 平成27(2015)年12月11日 (金) 13:00～17:40

【セッション1】 スンクスの疾患モデルとしての可能性を探る】

- はじめに一実験動物としてみたスンクスの諸特性 織田銃一先生 (元岡山理科大学・理学部)
- 神経ペプチド・ホルモン分子の進化と機能行動制御モデルとしてのスンクス 坂本浩隆先生 (岡山大学大学院・自然科学研究科)
- スンクスを用いた消化管運動研究ーモチリンとグレリンの相乗作用についてー 坂井貴文先生 (埼玉大学大学院・理工学研究科)

- スンクスにおける低温不耐性のメカニズム 城ヶ原貴通先生 (岡山理科大学・理学部)・鈴木大雄氏 (㈱オリエンタルバイオサービス)

【セッション2】 新しいモデル動物ーツパイ、フェレット

- 新たなヒト型感染症モデル動物としてのツパイ 小原道法先生 (東京都医学総合研究所・感染制御プロジェクト)
- フェレットを用いた高等哺乳動物の脳神経系の分子遺伝学的解析 河崎洋志先生 (金沢大学・医薬保健研究域)

【セッション3】 トランスレーショナルリサーチのための新たなモデル動物と作出

- 様々な動物のアレルギーから発するトランスレーション研究 田中あかね先生 (東京農工大学大学院・農学研究科)
- ゲノム編集の基礎と新たな哺乳類モデルの樹立 本多 新先生 (宮崎大学・テニユアトラック推進機構)

見 学

- ㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所 第4回研究会 昭和58年12月3日
- ㈱林原生物化学研究所・吉備製薬工場 第21回研究会 平成3年7月12日
- 岡山県総合畜産センター(現岡山県農林水産総合センター・畜産研究所) 第23回研究会 平成4年6月20日
- 岡山大学農学部・薬学部動物実験施設 第35回研究会 平成10年7月18日
- ㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所 第41回研究会 平成13年6月22日
- 三谷恵一研究室(岡山大文学部・行動科学科心理学研究室) 第45回研究会 平成15年6月13日 岡山大文化科学系総合研究棟4階オープンラボラトリーA